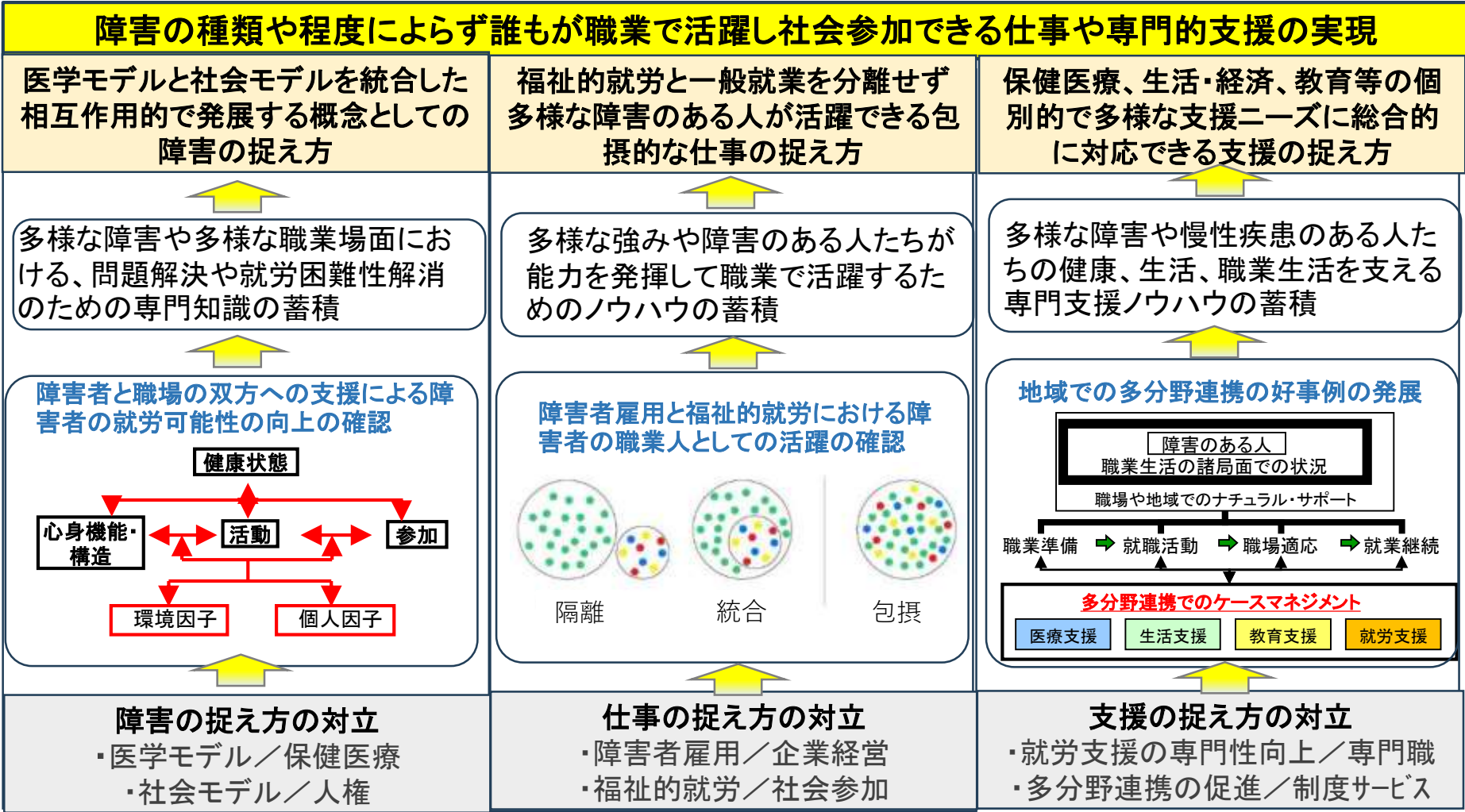


我が国と諸外国での障害者雇用施策の 共通性と相違点を明確にする 共通比較枠組みの試案

- 下條今日子（障害者職業総合センター 上席研究員）
春名由一郎・堀宏隆・武澤友広・藤本優・日高智恵子
（障害者職業総合センター）

1 背景と目的

従来の障害者雇用施策は障害・仕事・支援の捉え方には対立的な部分が見られたが、総合的な発展に伴う知識・ノウハウの蓄積による普遍性を獲得しつつある。
→我が国と諸外国の障害者雇用施策の比較や、我が国が諸外国の施策を参考にできる可能性が高まる。



2 方法

(1) 我が国の課題への諸外国からの 学びの情報収集

「世界の職業リハビリテーション」
(諸外国の情報のとりまとめ)

NIVRホームページにて公開中
<https://www.nivr.jeed.go.jp/research/advance/advance01.html>



＊ ＊ 主なトピック ＊ ＊

- 職業アセスメント再構築の課題
- 福祉的就労と一般就業の谷間の解消
- 障害者と事業主の統合的支援
- 障害者雇用企業への経済的支援と税制
- 職業リハビリテーションの人材育成と資格認定

(2) 障害者雇用施策の総合性を踏まえた 仮説設定

- 我が国や諸外国の障害者雇用施策の総合的で普遍的な発展の方向性を踏まえることにより、我が国の強みを明確にするとともに、諸外国から効果的に学ぶことができる。

我が国の障害の捉え方の発展	我が国の仕事の捉え方の発展	我が国の支援の捉え方の発展
✓ 我が国の達成実績 ✓ 身体障害⇒知的障害⇒精神障害と雇用率制度上の障害の順次拡大 ● 今後の検討課題 □ 障害者手帳のない障害者等の就労困難性の捉え方 等 医学モデルと社会モデルを統合した相互作用的で発展する概念としての障害の捉え方	✓ 我が国の達成実績 ✓ 身体障害、知的障害、精神障害の障害者雇用の量的増加 ✓ 特例子会社の実績 ✓ ジョブコーチ支援の実績 ✓ 福祉から雇用への移行支援 等 ● 今後の検討課題 □ 障害者雇用の質の捉え方 □ 障害者雇用と福祉的就労のあり方 等 福祉的就労と一般就業を分離せず多様な障害のある人が活躍できる包摂的な仕事の捉え方	✓ 我が国の達成実績 ✓ ハローワークのチーム支援等 ✓ 障害者就業・生活支援センター ✓ 精神科医療機関との連携 ✓ 治療と仕事の両立支援 ✓ 教育機関との連携 等 ● 今後の検討課題 □ 医療・福祉・教育等の関係分野との連携強化 □ 障害者就労支援に携わる支援人材の育成等 等 保健医療、生活・経済、教育等の個別的で多様な支援ニーズに総合的に対応できる支援の捉え方

(3) 草案の諸外国の障害者雇用施策の有識者による検討

当センターで収集した諸外国と我が国の関連情報を仮説に沿って、分類・整理→比較枠組みの草案を作成。

妥当性について、米、独、英、仏と我が国の現状、課題、動向に関する有識者による研究委員会にて、実際の各国の情報の分類・整理を試行的に進めることにより検証。

我が国の基本的成果

各国の障害者就業統計や障害者や事業主への支援ニーズへの対応状況を的確に把握



障害者雇用支援の制度・サービスの発展による知的障害者等の雇用の促進の成果の確認

比較

我が国の政策課題への参考

- 手帳を所持しないが、就労支援を必要とする障害者への対応
 - 障害者雇用の質の向上
 - 専門性の高い支援を実現するための地域支援体制の構築、人材育成 …等
- 参考になる諸外国の施策や情報がないか

3 結果

(1) 草案についての各国の有識者による検討結果

我が国や諸外国の関連情報が網羅的に分類できる可能性あり

他国の取組みを参考に、我が国の取組内容や近年の議論等を整理できる可能性あり

＜例＞

「社会生活基本調査」「国民生活基礎調査」「生活のしづらさ調査」にて、米国やEUの障害者定義に沿った設問がある。

「認定就業支援専門職」(米国)・・・幅広い関係者を対象とし、我が国の「基礎的研修」の狙いに相当する。

特定の障害種類・程度と特定の仕事や支援との結びつきが強く、障害、仕事、支援に構造的に分離しにくい、支援により障害状況が変化する等の状況あり。

→的確に分類・整理できるように、草案の枠組みを改善する必要あり。

(2) 共通比較枠組みの試案

	共通12テーマ
基礎的状況の比較	①障害種類・程度別の生産年齢人口
	②多様な働き方での障害者の就労状況
	③障害者と事業主の支援の制度・サービス
雇用支援の対象となる軽度から最重度までの多様な障害者の理解	④障害者雇用支援の対象となる障害者の範囲
	⑤重点的な雇用支援を必要とする障害者の範囲
	⑥障害者の就労可能性と配慮・支援の相互作用の認識

(2) 共通比較枠組みの試案 (続き)

	共通12テーマ
多様な障害者が活躍できる 包摂的な働く場の確保	⑦障害者雇用率制度等の数値目標 と雇用促進策
	⑧障害者雇用の質の向上とその評 価指標等
	⑨重度障害者の雇用促進と福祉制 度との連携
多様で個別的な支援ニーズに対応 できる地域支援体制	⑩効果的な障害者雇用支援を支え る専門知識等の蓄積と活用
	⑪医療、福祉、教育、就労等の総合 的支援の実現方法
	⑫職業リハビリテーションの人材育 成と情報支援

4 考察と今後の課題

考察

- アメリカ、ドイツ、イギリス、フランスと我が国の障害者雇用施策を網羅的に比較検討できる可能性が確認できた。
- 障害者雇用支援施策は、障害の種類や程度によらず誰もが職業で活躍し社会参加できる仕事や専門的支援の実現に向けた総合的な発展の途上であることを認識できた。

今後の課題

我が国の強みや課題を明確にするとともに、諸外国における多様な制度・サービスの発展の成果や課題から我が国が学べることを明確にしていく中で、さらにこの共通比較枠組みの見直しを進める必要がある。